

図書館だより

LIBRARY INFORMATION

ゆっくり本を楽しむ

今月のおススメ

もりへぞろぞろ
村田喜代子/作
近藤薫美子/絵

作りおき&
朝7分お弁当312
倉橋利江/著

9月 図書館カレンダー

2024年		September					
日	月	火	水	木	金	土	
1	2	3	4	5	6	7	
8	9	10	11	12	13	14	
15	16	17	18	19	20	21	
22	23	24	25	26	27	28	
29	30						

夏休みも後半戦となる8月。1年で最も暑い季節は、まだまだ続きそうです。今月は、これからも猛威を振るうであろう暑さとの共存をテーマに「自然」と「日常」の2つの角度からおすすめの商品をご紹介します。

もりへぞろぞろ

ある山の中、動物たちは仲間を助けるため、病気が治るといわれる森へ向かいます。山のずっと奥深く、怖いものがいっぱいいる暗い森へぞろぞろぞろ。動物たちの大行列が細部まで色鮮やかに描かれたページをめくると、そこには読み手にまでひんやりとした空気が流れる真っ暗な森。目に見えないものの存在と自然への畏怖を感じる絵本です。



借成社

作りおき&朝7分お弁当312

毎日のお弁当は、平日の朝7分で作れる1品と作り置きのおかずで決まり！キッチンで汗をかく時間を短縮してラクをしましょう。肉・魚・麺などメイン食材で選ぶもよし、冷蔵庫にある食材のレシピを索引から探すこともできます。冷凍・冷蔵・解凍の方法からお弁当箱のサイズに合わせた詰め方まで、手早くおいしく作るコツがひと目でわかる頼もしい一冊です。



新星出版社

■休館日：月曜日（祝日の場合はその翌日）、図書整理日

◎お話し：9月14日 田午前10時30分から

ホームページでは、利用案内や図書検索など図書館の情報を掲載しています▶

☎ 図書館 ☎ 029-897-0647



図書館ボランティアのご案内

- 毎月第2土曜日に「石のスープの会」によるお話を開催しています。
- 「つくしんぼ」は、児童クラブ・保育所などへ読み聞かせを行っています。
- 広報や図書の音訳CD作成「朗読ボランティアせせらぎ」、図書整理「ひばりの会」、本を通して交流を深める「読書会」も活発に活動中。

歴史にふれる 加茂地区の立木観音と石塔

加茂字立木山に、立木観音（正式名称：立木山千手院密蔵寺）と呼ばれる小堂があります。元は規模の大きいお堂があったそうですが、明治30年代に火災に遭い焼けてしまいました。現在のお堂は、昭和28年に再建されたもので、現在も、火災により炭化してしまった仏像（観音様）が堂内に保管されており、その姿は一本木造で1mを超え、中世以前の古い特徴が見られます。この観音様と歩崎の観音様、崎浜の観音様は一本の巨木から造られたとする言い伝えもあります。また、立木観音北側の山中には、直径40m程の大きな円墳があり、愛宕塚と呼ばれています。少し変わった形状をしており、仏教のシンボルの輪宝に似ていることから、立木観音との関連も指摘されています。

境内には、中世から江戸時代にかけて造られた多数の石塔（五輪塔・宝篋印塔・六地藏宝幢など）の

部材が乱積されているところがあります。古い時期に墓域があったことが想定されますが、その後どのような経緯で石塔がバラバラにされ、積み上げられたのかは分かっていません。その中に、四面に四天王像が彫られた非常に珍しい層塔の一部が発見されており、部材の形状から15世紀頃のものと考えられます。また、境内の南側には弁才天を祀る池があり、弁天池と呼ばれています。地元の方々の間では、弁天池の底に石塔が沈んでいることが知られており、6月19日に有志の皆さんにより立木観音の歴史究明のため石塔の引き上げが実施されました。



引き上げの様子

引き上げられた石塔

その結果、戦国時代から江戸時代までの石塔（五輪塔・宝篋印塔など）の部材数十点が見つかり、作業に参加した松葉薫さんは「四天王の層塔の部材が見つからなかったことは残念だが、立木観音に関する資料が増えたことが嬉しい」と語っていました。

☎ 歴史博物館 ☎ 029-896-0017

スポーツで『地域』を元気に

☎ 観光課（霞ヶ浦庁舎）
☎ 029-897-1111

霞ヶ浦でカヌー・SUP体験 ～歩崎公園湖岸で開催しました～

7月28日、歩崎公園の湖岸で市観光協会によるカヌー・SUP体験会を開催しました。インストラクターの補助のもと、初めて体験する方も霞ヶ浦の自然を堪能しながら、楽しい時間を過ごしていました。栃木県から参加した方は「初めて霞ヶ浦に来ました。とても大きな湖でびっくりしました。カヌーやSUPを通じて自然を堪能できとても楽しかったです。また来たいです」と笑顔で語ってくれました。



インストラクターをしていたいただいた県障害者カヌー協会代表の朝日省一さん（市内在住）は「参加した方にカヌー・SUPを通じて、霞ヶ浦の良さを知っていただくことができ嬉しいです。今後もかすみ市が元気になれるよう協力していきます」と語ってくれました。市では、定期的にカヌーやSUPなどの湖上アクティビティを実施しています。年齢問わず楽しめるイベントですので、ぜひご参加ください。



朝日省一さん



インストラクターの皆さん



市の観光やイベント情報は、市観光協会ホームページをご覧ください。

文芸ひろば 投稿作品

千代田俳句同好会	昭和史の歪み抱えし葉月かな	今井守
散り敷きて地を紅に百日紅	大西周	
緑蔭に椅子をもちだし読書かな	加藤貞江	
朝顔の七つ並んでほほゑみ	北原千恵子	
オランダ風車ゆるりと廻る夏の空	神原清志	
前掛へもぎたて胡瓜いただきぬ	桜井愛子	
紫陽花俳句会	久保庭悦子	
山百合の白き際立つ夕まぐれ	島田和子	
夏場所の怪我を超えたる武将あり	原田佳世子	
蒲の穂の綿すいと宇宙まで	田能幸雄	
薫風や庫裡を抜け出で大伽藍	華師寺玲子	
出島短歌会	名倉観子	
父に編むセーターどれが好みかと訊きて目覚めし父亡き朝	岡田恭子	
利尻山の傾りに咲けるきんぼうげ海からの風うけて波打つ	仲谷香代子	
夕明かり流れる空に杉の木の葉群は青し頭上に揺らぐ	高野新一	
夢多き若きあの日はどこへやら今に思えば何も掴めず	矢口哲雄	
投稿作品	関和代	
早朝散歩友畑おり「持つてくか」甘き香りのもろこしきりり	中島良平	
夏祭り山車から聞こゆ笛太鼓日本の音だいついっまでも	中野新一	
若き日にひなが巡りしとふ礼文島花咲く丘を君と歩める	高野新一	
小夜嵐たおれし花苗添木たて聞く朝を待つも愛しや	高野新一	
夕べ啼くカナカナにひと日醸さるる	高野新一	
紅蓮華やレゴングランスの指の反り	高野新一	
露天風呂日差しこぼるる竹簾	高野新一	
夏休み爺も解いてる数帳	高野新一	
秋初月優美な姿の帆引船	高野新一	

WEBで投稿
できます



投稿作品（俳句・短歌・川柳）を募集します。9月3日☎までに秘書広報課（〒315-8512 上土田461）へお願いします。 ※応募多数の場合は掲載されない場合があります。また、【電話番号】【漢字にはふりがな】の記載をお願いします。